藤田医科大学 IR 活動の 2026 年度計画

藤田医科大学 IR 推進センター

2026 年 4 月 1 日

１．はじめに

藤田医科大学 IR 推進センター（以下、IR 推進センター）は、藤田医科大学（以下、本学）の教育の質の保証と向上を図るため、学内外の多様なデータを収集し、本学の教育及び学生支援に関する諸データの統合分析と情報提供等を行い、本学の教育活動の充実、発展への寄与を目指している。IR 推進センターによる学習時間・教育の成果等に係る情報の収集・分析・報告を以下、IR 活動と呼ぶ。

IR 推進センターには医学部 IR 分室、医療科学部 IR 分室と保健衛生学部 IR 分室（以下、学部 IR 分室）が設置されている。基本的な役割として、IR 推進センターが IR 活動の方針と計画を定め、その方針と計画に沿って、学部 IR 分室が学部の IR 活動を実施し、また、IR 推進センターがその支援と調整を行う。

以下、IR 活動の 2026 年度計画について、IR 推進センターの計画（医学部、医療科学部と保健衛生学部の計画を除く）、医学部の計画、医療科学部の計画と保健衛生学部の計画を示す。

２．IR 推進センターの計画

IR 推進センターの IR 活動の計画（医学部、医療科学部と保健衛生学部の IR 活動の計画を除く）について、主な事項は次の通りである。

- 「学生生活・学修実態調査」の学部 IR 分室の 2026 年度実施計画を支援・調整する（表 2)。調査目的、調査対象、調査内容と実施方法は 2025 年度調査に準ずるものとする。
- 学長の指示や各学部長等の依頼を受け、教育に関する各種調査・分析の実施・調整を行う。
- IR 機能の強化に向け、他大学と共同で研修会・講演会を開催する。本学 IR 事業の取組・成果を他大学に紹介し、指導・助言や意見交換を行う（表 2)。
- 2026 年度版の「IR 活動のパンフレット」を 2025 年度の学生生活・学修実態調査に基づいて作成する（表 2)。
- IR 推進センターホームページを有効に運用する。
- IR 活動の 2026 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2026 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2027 年度計画を策定する。

表 1.　IR 推進センターの IR 活動の方針

2026 年 4 月 1 日

藤田医科大学 IR 推進センターの IR 活動の方針

藤田医科大学 IR 推進センター

「藤田医科大学 IR 推進センター規程」第 11 条に基づき、藤田医科大学 IR 推進センターによる学習時間・教育の成果等に係る情報の収集・分析・報告（以下、IR 活動）の方針を定める。

IR 活動の方針としては、次の通りとする。

（1）IR 活動は年度計画を策定し、年度計画に沿って実施する。

（2）IR 活動は PDCA サイクルへの情報提供を想定する。

（3）学部 IR 分室での IR 活動の結果は IR 推進センターで検討する。

（4）学部 IR 分室での IR 活動の結果は、原則として学部での検討を求める。

（5）IR 活動の結果はできるだけ報告書にまとめ、可能な範囲で公表する。

（6）結果の検討から必要性が低いと判断された IR 活動は、縮小または中止する。

（7）特別な事項（「私立大学等改革総合支援事業」、「教育の質に係る客観的指標（私立大学等経常費補助金の交付申請に係る資料）」など）に係る IR 活動では、上記（1）～（6）をできるだけ遵守する。

表 2.　IR 推進センターの IR 活動の 2026 年度計画
（医学部、医療科学部と保健衛生学部の IR 活動を除く）

	課題名	対象者	方法	主な内容	主なねらい	実施時期	報告形式	公表	特記事項
1	学生生活・学修実態調査	全学生・教員	調査	学生生活と学修の全般	学生の生活および学修の実態について学生の自己評価と教員の認識を把握し、教育環境や学修指導の改善に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	
2	IR機能の強化に向けた他大学との連携事業	他大学IR担当者	研修会講演会	本学IR事業の取組・成果の紹介、指導・助言、意見交換など	他大学と共同で開催する研修会・講演会において、本学IR事業の取組・成果を他大学に紹介し、指導・助言や意見交換を行う。	9月	報告書	一般	研修会・講演会の内容を報告書としてまとめ、一般公開する。
3	IR活動のパンフレット	全学生・教員（前年度）	記録	学生生活・学修実態調査など、過去の調査・分析の主な結果。	2025年度版の周知を図り、その改善を検討した上で2026年度版を作成する。	9月	資料	一般	

３．医学部の計画

医学部の IR 活動の計画について、主な事項は次の通りである。

・「卒業生を対象とした卒業コンピテンス・コンピテンシー到達度調査」について、2025 年度卒業生ならびに卒業生の初期研修先指導医を対象として実施する。調査は卒業生に対しては 2 月に自己評価により実施し、就職先研修病院に対しては 5～7 月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は 4 月末、初期研修先病院を対象とした調査は 8 月末までに報告書を作成する（別表）。

・「入試区分・成績と入学後の成績の関連調査」について、2019 年度以降の医学部入学生を対象に実施する。調査は入試区分・成績と入学後の学業成績を学務情報システムより抽出し、分析を行う。分析期間は 5～6 月とし、7 月末までに報告書を作成する（別表）。

・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」について、2025 年度卒業生を対象として、本学在学時の教育内容・施設設備の満足度を振り返る調査を 5～7 月に行い、8 月末までに報告書を作成する（別表）。

・「過年度卒業生を対象とした本学の振り返りアンケート」について、2024 年度卒業生（研修医 2 年目）を対象として卒業コンピテンス、6～8 月に実施し、データ分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（別表）

・「学生生活・学修実態調査」を全学生と教員を対象として 9～10 月に実施し、データ分析を行い、12 月末までに報告書を作成する（別表）。

・（7 年おきに計画されている）医学部卒業生動向調査の 2027 年度実施に向けて、2026 年度中に調査組織体制を決定し、調査項目を策定する（別表）。

・学長の指示や各学部長等の依頼を受け、教育に関する各種調査・分析の実施・調整を行う。

・アドミッションセンターからの依頼を受け、入試に関する各種調査・分析を支援する。

・IR 活動の 2026 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2026 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2027 年度計画を策定する。

表3. 医学部IR分室の2026年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象とした卒業コンピテンス・コンピテンシー自己評価	2025・2026年度卒業認定者	調査	卒業コンピテンス・コンピテンシー修得状況	6年生（卒業認定者）を対象に医学部卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度の自己評価を把握し、今後の教育改善や学修指導に資する資料を得る。	2026年度卒業生：2027年2月 2025年度卒業生：2026年2月	報告書	一般	2025年度卒業認定者に関する報告書は2025年4月末までに作成。2026年度卒業認定者に関する報告書は2027年4月末までに作成。
2	入試区分・成績と入学後の成績の関連調査	2019年度以降の医学部入学生	入試・学業成績データ	入試区分と学力試験・面接試験の成績、および、M2、M4、M6時点での試験成績と進級状況など	入試区分・成績と入学後の成績の関連を把握することで、入試選抜方法の妥当性の検証や学修支援に資する資料を得る。	5月～6月	報告書	学内	7月末までに報告書作成
3	卒業生を対象とした卒業後アンケート	2025年度卒業生（研修医1年目）	調査	教育内容・施設設備の満足度	卒業生に本学でのカリキュラムや施設設備を振り返ってもらい様々な面からの満足度を把握し、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	5月～7月	報告書	一般	8月末までに報告書作成
4	就職先アンケート	2025年度卒業生（研修医1年目）の初期研修先病院の指導者	調査	卒業コンピテンス・コンピテンシー修得状況	卒業生の卒業コンピテンス・コンピテンシー修得度を初期研修先病院指導者の客観的な評価により把握し、今後の教育改善や学修指導に資する資料を得る。	5月～7月	報告書	一般	8月末までに報告書作成
5	過年度卒業生を対象とした本学の振り返りアンケート	2024年度卒業生（研修医2年目）	調査	教育内容・施設設備の満足度	本学での卒業基準の達成が臨床研修にどの程度貢献しているかを把握し、本学のカリキュラムや教育環境の改善に資する資料を得る。	6月～8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成
6	学生生活・学修実態調査	医学部全学生と教員	調査	学生生活と学修の全般	学生の生活および学修の実態について学生の自己評価と教員の認識を把握し、教育環境や学修指導の改善に資する資料を得る。	9～10月	報告書	一般	12月末までに報告書作成
7	医学部卒業生動向調査（2027年度実施）に向けた準備	医学部全卒業生（1977～2026年度卒）	調査	学生生活と学修の全般	医学教育の過去・現在・未来の役割を明らかにし、本学の教育活動の充実、発展に資する資料を得る。2026年度はその翌年度の実施に向けて、調査組織体制を決定し、調査項目を策定する。	2027年9月頃	報告書	一般	2028年3月末までに報告書作成

4．医療科学部の計画

医療科学部の IR 活動の計画について、主な事項は次の通りである。

・「卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査」の課題について、2025 年度卒業生（学生自己評価）ならびに卒業生の就職先（就職先施設評価）を対象として実施する。調査は卒業生に対しては 1～2 月、就職先に対しては 8～9 月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は 6 月末、就職先を対象とした調査は 12 月末までに報告書を作成する（表 4）。2025 年度卒業生より、カリキュラム変更にともないディプロマ・ポリシーが変更されているため、ディプロマ・ポリシーに合わせてアンケート調査項目を修正・変更する。
・「卒業生を対象とした入学時からの動向追跡調査分析」の課題について、2022 年度入学生を対象として、入学時からの留年・休学・退学、成績、欠席等の動向について調査・分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（表 4）。
・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」の課題について、2025 年度卒業生を対象として、教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度の調査・分析を行い、11 月末までに報告書を作成する（表 4）。
・「全学生を対象とした GPA、成績分布状況及び進級率の分析」の課題について、2025 年度の全在学生を対象として、GPA、成績分布、進級率に関する調査・分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（表 4）。
・「学生生活・学修実態調査」を 1～4 年の全学生と教員を対象に 10 月より調査・分析を行い、12 月末までに報告書を作成する（表 4）。
・「入学生の入試種別と 1 年前期試験結果の分析」の課題について、2026 年度入学生を対象に調査・分析を実施し、11 月末までに報告書を作成する（表 4）。
・報告書の分析内容として、データと統計に基づく客観的な分析結果を提示することに努める。継続的に実施している調査については経年的な変化、傾向について分析結果を提示することに努める。
・医療科学部学部長の指示や教務委員会、学生指導委員会など学部内各委員会などの依頼を受け、教育に関する各種調査・分析の実施・調整を行う。
・IR 活動の 2026 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2026 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2027 年度計画を策定する。

表 4.　医療科学部 IR 分室の 2026 年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）	卒業生（2025年度卒業時）	調査	DP到達度	4年生（卒業認定者）を対象に学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対しての到達度に対する学生評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	1～2月	報告書	一般	6月末までに報告書作成完了
2	卒業生を対象とした入学時からの動向追跡調査分析	2022年度入学～2025年度卒業生	記録	入試、留年・休学・退学、成績、欠席	入学時からの動向追跡調査を行い、留年、休退学、成績等に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	6月	報告書	学内	9月末までに報告書作成完了
3	卒業生を対象とした卒業後アンケート	卒業生（2025年度卒）	調査	教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度	学部の教育や学生支援などに関する諸データの統合分析を行い、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	11月末までに報告書作成完了
4	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（就職先評価）	施設管理者（2025年度卒業生就職先）	調査	DP到達度	卒業生について学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対しての到達度に対する就職先における評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8～9月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
5	全学生を対象としたGPA、成績分布状況及び進級率の分析	1～4学年（2025年度在学生）	記録	GPA、進級・留年・休学・退学	在校生のGPA、成績分布、進級率に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
6	学生生活・学修実態調査	1～4学年（2026年度在学生）	調査	学生生活と学修の全般	学生の生活及び学習の実態について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
7	入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析	新入生（2026年度入学）	記録	入試、成績	新入生の入試種別と1年前期試験成績との関連を分析し、今後の入試種別・内容について検討する基礎資料を得る。	11月	報告書	学内	12月初旬までに報告書作成完了

5．保健衛生学部の計画

保健衛生学部の IR 活動の計画について、主な事項は次の通りである。

・「卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査」の課題について、2025 年度卒業生（学生自己評価）ならびに卒業生の就職先（就職先施設評価）を対象として実施する。調査は卒業生に対しては 1～2 月、就職先に対しては 8～9 月に行う。調査結果の分析を行い、卒業生を対象とした調査は 6 月末、就職先を対象とした調査は 12 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・「卒業生を対象とした入学時からの動向追跡調査分析」の課題について、2022 年度入学生を対象として、入学時からの留年・休学・退学、成績、欠席等の動向について調査・分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・「卒業生を対象とした卒業後アンケート」の課題について、2025 年度卒業生を対象として、教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度の調査・分析を行い、11 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・「全学生を対象とした GPA、成績分布状況及び進級率の分析」の課題について、2025 年度の全在学生を対象として、GPA、成績分布、進級率に関する調査・分析を行い、9 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・「学生生活・学修実態調査」を 1～4 年の全学生と教員を対象に 10 月より調査・分析を行い、12 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・「入学生の入試種別と 1 年前期試験結果の分析」の課題について、2026 年度入学生を対象に調査・分析を実施し、11 月末までに報告書を作成する（表 5）。
・報告書の分析内容として、データと統計に基づく客観的な分析結果を提示することに努める。継続的に実施している調査については経年的な変化、傾向について分析結果を提示することに努める。
・保健衛生学部学部長の指示や教務委員会、学生指導委員会など学部内各委員会などの依頼を受け、教育に関する各種調査・分析の実施・調整を行う。
・IR 活動の 2026 年度の実施状況について、IR 活動の方針（表 1）と 2026 年度計画から点検し、必要に応じて IR 活動の方針を見直し、2027 年度計画を策定する。

表 5.　保健衛生学部 IR 分室の 2026 年度計画

	課題名	対象者	収集方法	収集情報の主な内容	分析の主なねらい	実施時期	形式	公表	特記事項
1	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（学生自己評価）	卒業生（2025年度卒業時）	調査	DP到達度	4年生（卒業認定者）を対象に学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対しての到達度に対する学生評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	1～2月	報告書	一般	6月末までに報告書作成完了
2	卒業生を対象とした入学時からの動向追跡調査分析	2022年度入学～2025年度卒業生	記録	入試、留年・休学・退学、成績、欠席	入学時からの動向追跡調査を行い、留年、休退学、成績等に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	6月	報告書	学内	9月末までに報告書作成完了
3	卒業生を対象とした卒業後アンケート	卒業生（2025年度卒）	調査	教育内容・施設設備の満足度、就職先の満足度	学部の教育や学生支援などに関する諸データの統合分析を行い、教育活動の充実発展に資する資料を得る。	7～9月	報告書	一般	11月末までに報告書作成完了
4	卒業生を対象としたディプロマ・ポリシー到達度調査（就職先評価）	施設管理者（2025年度卒業生就職先）	調査	DP到達度	卒業生について学部及び学科のディプロマ・ポリシーに対しての到達度に対する就職先における評価について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8～9月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
5	全学生を対象としたGPA、成績分布状況及び進級率の分析	1～4学年（2025年度在学生）	記録	GPA、進級・留年・休学・退学	在校生のGPA、成績分布、進級率に関する分析を行い、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	8月	報告書	一般	9月末までに報告書作成完了
6	学生生活・学修実態調査	1～4学年（2026年度在学生）	調査	学生生活と学修の全般	学生の生活及び学習の実態について把握し、今後の教育の改善や修学指導に資する資料を得る。	10月	報告書	一般	12月末までに報告書作成完了
7	入学生の入試種別と1年前期試験結果の分析	新入生（2026年度入学）	記録	入試、成績	新入生の入試種別と1年前期試験成績との関連を分析し、今後の入試種別・内容について検討する基礎資料を得る。	11月	報告書	学内	12月初旬までに報告書作成完了